

【対象者】60字以上の世界史論述を課す大学の志望者

- ・東大、京大、一橋大、筑波大などの国公立大学の志望者
- ・早稲田大（法・商）、慶應大（経済）、明治大（政経）、津田塾大、学習院大（文）など論述を出題する私立大学の志望者
- ・TEAPスコア利用型入試による上智大の志望者

【目標】

一般的な論述問題に対する基礎的・普遍的な解法を完璧に身につける。

【講座内容】

本講座は、世界史の試験で論述問題を課すあらゆる大学の志望者を対象とする、論述対策の基礎講座です。志望校への現役合格を勝ち取るため、上記の目標に基づいた方針で講座を行います。

栄光会世界史科による論述基礎講座の一番の目的は、論述問題の解き方の手順と頭の動かし方を理解し、実践演習と添削によって入試に必要な解答作成能力を養成することにあります。

世界史の論述対策について、多くの予備校では単に【問題を解く→内容の解説】という指導が行われていますが、それでは初見の問題に対応することはできません。本講座では、どのような論述問題であろうが使える普遍的な頭の動かし方を身につけさせる指導を行っていきます。

そのために、問題文から解答すべきことを「読み取り」、読み取った内容をパターン化してその意味を「理解」し、自分の持っている世界史の力を合わせて解答に必要な要素を「書く」能力を、3日間の講座を通して養成していきます。

また、本講座を受講することで、厳選した論述問題に基づいて古代から近世の通史を効率よく復習するという効果も期待できるでしょう。

さらに、各受講者に対して個別指導を充実させ、今後の勉強法なども指導することをお約束します。

【注意点】

- **栄光会世界史レギュラー「外」の生徒で本講座を取る場合、世界史科講師との面談が必須です。** 事務に講師との面談の旨を伝えてください。
- レギュラー内の生徒であっても、レギュラー授業の理解が不十分であるとこれらの講座の内容が消化しきれないので、**対象生徒は第1回復習試験の点数が80点以上の人とします。**本講座は基礎的な世界史の内容を確認するためではなく論述問題対策として開講されるため、**復習試験の点数が80点未満の人でこの講座を受講したい場合は、必ずレギュラーの担当講師と相談した上で本講座を受講するかどうかを決めてください。**
- **欠席は認めません。** 現段階でやむを得ない欠席事項が明らかになっている場合は、世界史科講師との面談を経て申し込んでください。
- 栄光会の世界史年間講座の受講の有無は問いませんが、**「知識」(世界史の力)があることを前提**

として講習を進めていきますので、上記の大学志望者であっても通史学習が順調に進められていない者は対象外とします。

- また、本講座で扱う通史範囲は古代から近世（アメリカ独立革命・フランス革命・産業革命まで）です。
- 授業は後半（12:30～）ですが、授業前後に個人指導を行います。授業前後のどちらか1時間は必ず空けるようにしてください。
- 東京外大は、出題される論述字数自体は論述講座の対象ですが、配点を考慮すると英語に勉強時間を費やした方が合格の可能性が高いと考えられます。受講を悩む場合は世界史科講師に相談してください。
- 慶應大（法）は、今年度から入試で記述式を導入する旨が発表されています。サンプル問題が公表されていないためどのような出題が行われるか不明ですが、志望者は早稲田大（法）との併願も想定して、論述基礎講座を受講することを推奨します。